

米澤製油株式会社

御中

質問1 貴社製品原材料の原産国、非遺伝子組み換え原材料の分別状況についてお答えください。

製品	原料作物	原産国又は 国内産地	遺伝子組み換え		使用開始時期
			分別	不分別	
国産100%なたね油	ナタネ	北海道、青森他	✓		1990年代
圧搾一番しぼりなたねサラダ油	ナタネ	オーストラリア	✓		1990年代

質問2 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えのものに変更する予定はありますか。予定の有無とともに、その理由もお答えください。

⇒ 予定なし：安全性や環境への影響を考慮し、遺伝子組み換え原料は使わない方針を変更する予定はないから

質問3 遺伝子組み換えでない原材料の調達について、昨年度と比べて変化はありますか。

⇒ オーストラリアで収穫される菜種の遺伝子組み換え比率が急速に高まっている

質問4 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声があります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給し続けるためには、どのような課題があるとお考えですか。

⇒ 遺伝子組み換えでない原材料を使用した製品の消費を維持もしくは増やすこと。
需要が無ければNon-GM原料はそもそも生産されないし、需要が少なくなればGM原料に対するプレミアムが高くなり、製品価格も上がってしまう

質問5 気候変動等により原材料の調達で最も課題となっていることについてお教えください。（例えば、干ばつによる収穫量の減少等、生産地の状況等）

⇒ Non-GM菜種の価格（相場の高止まり、GM菜種との価格差、円安）

質問6 搾油後の油粕や搾油中に出る副産物はどのように利用されていますか。（例えば、肥料や家畜の飼料、バイオディーゼル等）

⇒ 肥料・飼料・バイオ燃料

質問7 ゲノム編集由来の原材料が入手できるようになった場合、使用しますか。

☐ はい ☒ いいえ

その理由：ゲノム編集由来の原材料の安全性や環境への影響が明確になっていないと思われるから

質問8 産地から貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法について、お教えください。

⇒ 国産菜種：生産地で農家または集荷業者がフレコンバッグ等に詰めたうえで、弊社にトラックで入庫（国産菜種は遺伝子組み換え品種の商業栽培は無い）
豪州産菜種：農家が圃場ベースでGM/Non-GM品を分けて菜種を生産。
集荷業者のサイロにてGM/Non-GMを分けて保管。複数回の検査を経て、輸出用のコンテナへ詰め替え。船にて日本へ入港。港でフレコンバッグに詰め替えてから弊社にトラックで入庫

質問9 原材料トレーサビリティについて

主原料の入荷記録の保存	有	
製品の出荷記録の保存	有	
製造ロットと入出荷ロットの対応付け記録の保存		無

※弊社が使用する原料は、全て遺伝子組み換えでないまたは混入防止管理済菜種
工場内に遺伝子組み換え菜種は無い

以上